

西網走地区の事業の効用に関する説明資料

1. 地区の概要

- (1) 地 域 : 北海道網走市
- (2) 受益面積 : 2,855ha
- (3) 事業目的 : 施設応急対策 2,855ha
- (4) 主要工事計画 : 用水路 2.7km (改修)
- (5) 国営事業費 : 1,200百万円
- (6) 工 期 : 平成28年度～平成32年度

2. 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位: 千円)

区 分	算定式	数 値
総費用 (現在価値化)	①=②+③	30,048,850
当該事業による整備費用	②	1,068,292
その他費用 (関連事業費+資産価額+再整備費)	③	28,980,558
評価期間 (当該事業の工事期間+40年)	④	45年
総便益額 (現在価値化)	⑤	32,612,830
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.08

(2) 総費用の総括

(単位: 千円)

区分	施設名 (又は工種)	事業着工 時点の 資産価額 ①	当該事業費 ②	関連事業費 ③	評価期間 における 予防保全費 ・再整備費 ④	評価期間 終了時点の 資産価額 ⑤	総費用 ⑥=①+②+ ③+④-⑤
当 該 事 業	越歳送水路	13,217	69,382	-	7,243	3,399	86,443
	能取送水路	223,581	788,221	-	90,737	3,399	1,099,140
	卯原内第2幹線用水路	99,191	210,689	-	30,404	26,164	314,120
	計	335,989	1,068,292	-	128,384	32,962	1,499,703
そ の 他	卯原内ダム	16,669,301	-	-	-	979,557	15,689,744
	卯原内導水路	479,293	-	-	255,188	69,590	664,891
	卯原内送水路	75,179	-	-	39,554	10,945	103,788
	計	25,095,964	-	-	5,607,083	2,153,900	28,549,147
合 計		25,431,953	1,068,292	-	5,735,467	2,186,862	30,048,850

※主な施設を事例として示す。その他の施設も含めた詳細については「西網走地区の事業の効用に関する詳細」を参照

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年総効果 (便益)額	効果の要因
食料の安定供給の確保に関する効果			
作物生産効果		563,510	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
品質向上効果		110,591	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での生産物の価格が維持、向上する効果
営農経費節減効果		852,113	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△18,067	用水施設の整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
その他の効果			
国産農産物安定供給効果		68,107	用水施設の整備により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合計		1,576,254	

(4) 総便益額算出表

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) ¹	経過年 (t)	作物生産効果						割引後 効果額合計 (千円)	備考
				更新分 に係る 効果	新設及び機能向上分に 係る効果			計			
					年効果 額 (千円) ②	年効果 額 (千円) ③	効果発 生割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果 額 (千円) ⑥=②+⑤		
0	H27	1.0000	0								評価年
1	H28	1.0400	1	563,510	—	—	—	563,510	541,837	1,505,450	
2	H29	1.0816	2	563,510	—	—	—	563,510	520,997	1,447,548	
3	H30	1.1249	3	563,510	—	—	—	563,510	500,942	1,391,828	
4	H31	1.1699	4	563,510	—	—	—	563,510	481,674	1,338,291	
5	H32	1.2167	5	563,510	—	—	—	563,510	463,146	1,286,814	
6	H33	1.2653	6	563,510	—	—	—	563,510	445,357	1,245,755	
7	H34	1.3159	7	563,510	—	—	—	563,510	428,232	1,197,852	
8	H35	1.3686	8	563,510	—	—	—	563,510	411,742	1,151,728	
9	H36	1.4233	9	563,510	—	—	—	563,510	395,918	1,107,463	
10	H37	1.4802	10	563,510	—	—	—	563,510	380,699	1,064,893	
45	H72	5.8412	45	563,510	—	—	—	563,510	96,472	269,852	
合計 (総便益額)									11,675,921	32,612,830	

※経過年は評価年からの年数

※作物生産効果額を事例として示す。その他の効果も含めた詳細については「西網走地区の事業の効用に関する詳細」を参照

3. 効果額の算定方法

(1) 作物生産効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

大豆、小豆、ばれいしょ、てんさい、だいこん、たまねぎ、いちご

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = \text{単収増加年効果額}^*$$

$$\begin{aligned} \text{※ 単収増加年効果額} &= \text{作付面積} \times (\text{事業ありせば単収} - \text{事業なかりせば単収}) \\ &\times \text{単価} \times \text{単収増加の純益率} \end{aligned}$$

○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単収			生産増減量 ③=①×② ÷100	生産物単価 ④	増加粗収益 ⑤=③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果算定対象単収 ②					
大豆	更新	ha	ha	ha	単収増 (湿潤かんがい) 大豆計	kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円
		19	19	19		174	219	45	8.6	89	765	73	558
小豆	更新				単収増 (湿潤かんがい) 小豆計								
		27	27	27		175	220	45	12.2	340	4,148	84	3,484
ばれいしょ	更新				単収増 (湿潤かんがい) ばれいしょ計								
		901	901	901		2,878	3,741	863	7,775.6	72	559,843	82	459,071
新設													
更新		1,909	1,909										563,510
合計										702,135			563,510

※主な作物を事例として示す。その他の作物も含めた詳細については「西網走地区の事業の効用に関する詳細」を参照

事業を実施した場合、既存の施設が更新されることに伴う生産維持に係る作物生産量の増減効果を見込むものとした。

【更新】

- ・ 作付面積 : 現況施設の下で作物生産量が維持される面積であり、「現況作付面積」は関係市の作付実績に基づき決定し、「計画作付面積」は現況＝計画とした。
- ・ 単収 : 「事業なかりせば単収」は用水機能の喪失時の単収であり、現況単収に効果要因別の失われる増収率分を減じて算定した。
「事業ありせば単収」は現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。
「効果算定対象単収」は事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。

【共通】

- ・ 生産物単価 : JA聞き取り等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・ 純益率 : 「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準値等を用いた。
- ・ 小数点以下を四捨五入していることから、増加粗収益等の記載値は計算結果と合わない場合がある。

(2) 品質向上効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の生産物価格の比較により年効果額を算定した。

○対象作物

ばれいしょ、だいこん、たまねぎ

○年効果額算定式

年効果額 = 効果対象数量 × 単価向上額

○年効果額の算定

作物名	効果要因	効果対象数量		生産物単価			単価向上額		年効果額		
		更新 ①	新設 ②	事業なかりせば ③	現況 ④	事業ありせば ⑤	現況－事業なかりせば ⑥＝ ④－③	事業ありせば－現況 ⑦＝ ⑤－④	現況－事業なかりせば ⑧＝ ①×⑥	事業ありせば－現況 ⑨＝ ②×⑦	計 ⑩＝ ⑧＋⑨
ばれいしょ	湿潤かんがい	t 25,931	t —	千円/t 68	千円/t 72	千円/t 72	千円/t 4	千円/t —	千円 103,724	千円 —	千円 103,724
だいこん	湿潤かんがい	323	—	78	91	91	13	—	4,199	—	4,199
たまねぎ	湿潤かんがい	667	—	71	75	75	4	—	2,668	—	2,668
新設											
更新									110,591		110,591
合計											110,591

【更新】

- ・効果対象数量：「事業なかりせば」の下での生産量。
- ・生産物単価：「現況単価」はJA聞き取りによる最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。なお、本事業による農産物の品質の向上は見込めないことから「現況単価」＝「事業ありせば単価」とした。
「事業なかりせば単価」は、「現況単価」に畑地かんがい導入地区の試験データを用いて算出した畑地かんがい品質向上率を考慮し決定した。

(3) 営農経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

○対象作物

小麦、大麦、大豆、小豆、ばれいしょ、てんさい、だいこん、たまねぎ、いちご

○年効果額算定式

$$\text{年効果額} = (\text{事業なかりせば単位面積当り営農経費} - \text{事業ありせば単位面積当り営農経費}) \times \text{効果発生面積}$$

○年効果額の算定

算定例：

- 小麦 (用水改良：防除作業に要する経費の増減)
- 大麦 (用水改良：防除作業に要する経費の増減)
- 大豆 (用水改良：水管理作業・防除作業に要する経費の増減)
- 小豆 (用水改良：水管理作業・防除作業に要する経費の増減)
- ばれいしょ (用水改良：水管理作業・防除作業に要する経費の増減)

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤=(①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦=⑤×⑥
	新設		更新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	事業ありせば 営農経費 ④			
小麦 (用水改良)	円 —	円 —	円 572,026	円 335,872	円 236,154	ha 739	千円 174,518
大麦 (用水改良)	—	—	446,480	303,896	142,584	207	29,515
大豆 (用水改良)	—	—	629,501	450,448	179,053	19	3,402
小豆 (用水改良)	—	—	668,711	440,711	228,000	27	6,156
ばれいしょ (用水改良)	—	—	1,011,418	593,072	418,346	901	376,930
新設	/						
更新	/						852,113
合計	/						852,113

※主な作物を事例として示す。その他の作物も含めた詳細については「西網走地区の事業の効用に関する詳細」を参照

【更新】

- ・事業なかりせば営農経費 (③)：事業ありせば営農経費を基に、事業なかりせば想定される水管理作業に係る経費の減少及び防除作業に係る経費の増加を反映し算定した。
- ・事業ありせば営農経費 (④)：実態調査等を基に算定した。

(4) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合(事業ありせば)と実施しなかった場合(事業なかりせば)を比較し、施設の維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

貯水池、用水路、ファームポンド

○年効果額算定式

年効果額 = 事業なかりせば維持管理費 - 事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区 分	事業なかりせば維持管理費 ①	事業ありせば維持管理費 ②	年効果額 ③=①-②
新設整備	千円 30,272	千円 19,685	千円 10,587
更新整備	1,618	30,272	△28,654
合 計			△18,067

【新設】

- ・事業なかりせば維持管理費 (①)：施設の実績維持管理費を基に算定した。
- ・事業ありせば維持管理費 (②)：施設の実績維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

【更新】

- ・事業なかりせば維持管理費 (①)：施設の実績維持管理費を基に、施設の機能を失った場合において安全管理等に最低限必要な維持管理費を算定した。
- ・事業ありせば維持管理費 (②)：施設の実績維持管理費を基に算定した。

(5) その他の効果(国産農産物安定供給効果)

○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により年効果額を算定した。

○対象作物

大豆、小豆、ばれいしょ、てんさい、だいこん、たまねぎ、いちご

○年効果額算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額

○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	単位食料生産額当たり効果額 (効果額/食料生産額) ②	当該土地改良事業における効果額 ③=①×②
	千円	円/千円	千円
新設整備	—	—	—
更新整備	702,135	97	68,107
合計			68,107

増加粗収益額

(①): 作物生産効果の算定過程で整理した作物生産量を基に、事業ありせば増加粗収益額及び事業なかりせば増加粗収益額を整理した。

単位食料生産額当たり効果額 (②): 年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額は一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、97円/千円(原単位)とした。

4. 評価に使用した資料

【共通】

- ・農林水産省農村振興局企画部土地改良企画課・事業計画課(監修)(2007)「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社(平成20年3月31日一部改正、平成21年3月31日一部改正、平成26年3月27日一部改正)
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について(平成19年3月28日付け農林水産省農村振興局企画部長通知(平成27年3月27日一部改正))
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について(平成27年3月27日付け農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐(事業効果班)事務連絡)

【費用】

- ・当該事業費及び関連事業費に係る一般に公表されていない諸元については、北海道開発局網走開発建設部調べ

【便益】

- ・農林水産省北海道農政事務所(平成22年～平成26年)「北海道農林水産統計年報」北海道農林統計協会
- ・厚生労働省(平成25年～平成26年)「毎月勤労統計調査」
- ・「国産農産物安定供給効果」について(平成27年3月27日付け農林水産省農村振興局整備部長通知)
- ・効果算定に必要な各種諸元については、北海道開発局網走開発建設部調べ

平成28年度新規地区採択チェックリスト
(1) 国営かんがい排水事業

(局名：北海道開発局) (地区名：西網走^{にしあぼしり})

特定監視項目

1. 地質状況
・地質状況に基づいた施設計画としている。
(用水路) 新たな基礎工事を伴わないことから該当無し。
2. 受益面積
・最近年の面積を把握している。
本事業は、前歴で整備した施設を改修する事業であることから、受益面積は基本事業における受益範囲を基に、農業委員会の農地基本台帳により一定地域の範囲を確認し、土地登記簿（平成27年2月時点）により積み上げている。

西網走地区地区の事業の効用に関する詳細
2(2) 総費用の総括-1

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	事業着工時点 の資産価額	当該事業費	関連事業費	評価期間に おける 予防保全費 ・再整備費	評価期間終了 時点の資産価額	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
		①	②	③	④	⑤	
当該 事業	越歳送水路(改修)	13,217	69,382	-	7,243	3,399	86,443
	能取送水路(改修)	223,581	788,221	-	90,737	3,399	1,099,140
	卯原内第2幹線用水路(改修)	99,191	210,689	-	30,404	26,164	314,120
	計	335,989	1,068,292	-	128,384	32,962	1,499,703
その他	卯原内ダム	16,669,301	-	-	-	979,557	15,689,744
	卯原内導水道	479,293	-	-	255,188	69,590	664,891
	卯原内送水路	75,179	-	-	39,554	10,945	103,788
	越歳送水路(既設)	172,956	-	-	92,419	25,092	240,283
	能取送水路(既設)	1,148,096	-	-	613,483	166,559	1,595,020
	越歳第1幹線用水路	512,787	-	-	272,014	74,515	710,286
	越歳第2幹線用水路	247,567	-	-	131,213	35,982	342,798
	嘉多山第1幹線用水路	664,109	-	-	353,337	96,439	921,007
	嘉多山第2幹線用水路	191,939	-	-	101,614	27,904	265,649
	嘉多山第3幹線用水路	148,824	-	-	78,620	21,646	205,798
	卯原内第2幹線用水路(既設)	1,040,929	-	-	556,219	151,012	1,446,136
	二見ヶ岡幹線用水路	275,083	-	-	145,471	40,001	380,553
	平和第1幹線用水路	142,529	-	-	75,695	20,706	197,518
	平和第2幹線用水路	131,433	-	-	69,457	19,115	181,775
	能取第1幹線用水路	814,121	-	-	432,942	118,236	1,128,827
	能取第2幹線用水路	12,517	-	-	6,638	1,819	17,336
	卯原内第2幹線第1支線用水路	9,369	-	-	4,960	1,362	12,967
	卯原内第2幹線第2支線用水路	4,517	-	-	2,386	657	6,246
	卯原内第2幹線第3支線用水路	1,419	-	-	758	206	1,971
	卯原内第2幹線第4支線用水路	1,628	-	-	870	236	2,262
	卯原内第2幹線第5支線用水路	2,094	-	-	1,119	304	2,909
	卯原内第2幹線第6支線用水路	1,238	-	-	661	180	1,719
	卯原内第2幹線第7支線用水路	892	-	-	477	129	1,240
卯原内第2幹線第8支線用水路	740	-	-	395	107	1,028	

西網走地区地区の事業の効用に関する詳細
2(2) 総費用の総括-2

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	事業着工時点 の資産価額	当該事業費	関連事業費	評価期間に おける 予防保全費 ・再整備費	評価期間終了 時点の資産価額	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
		①	②	③	④	⑤	
その他	卯原内第2幹線第9支線用水路	1,803	-	-	963	262	2,504
	卯原内第2幹線第10支線用水路	1,969	-	-	1,052	286	2,735
	嘉多山第1幹線第1支線用水路	40,752	-	-	21,538	5,927	56,363
	嘉多山第1幹線第2支線用水路	2,028	-	-	1,083	294	2,817
	嘉多山第1幹線第3支線用水路	731	-	-	231	116	846
	嘉多山第1幹線第4支線用水路	6,280	-	-	3,356	911	8,725
	嘉多山第1幹線第5支線用水路	1,732	-	-	926	251	2,407
	嘉多山第1幹線第6支線用水路	484	-	-	259	70	673
	嘉多山第1幹線第7支線用水路	1,971	-	-	1,053	286	2,738
	嘉多山第1幹線第8支線用水路	2,830	-	-	1,512	411	3,931
	嘉多山第1幹線第9支線用水路	2,109	-	-	1,127	306	2,930
	嘉多山第2幹線第1支線用水路	1,460	-	-	780	212	2,028
	嘉多山第2幹線第2支線用水路	519	-	-	277	75	721
	嘉多山第2幹線第3支線用水路	2,285	-	-	1,221	331	3,175
	嘉多山第2幹線第5支線用水路	21,164	-	-	11,309	3,070	29,403
	嘉多山第2幹線第6支線用水路	626	-	-	335	91	870
	嘉多山第3幹線第3支線用水路	37,339	-	-	19,952	5,417	51,874
	嘉多山第3幹線第7支線用水路	7,233	-	-	3,865	1,049	10,049
	嘉多山第3幹線第8支線用水路	3,770	-	-	2,015	547	5,238
	嘉多山第3幹線第9支線用水路	558	-	-	298	81	775
	嘉多山第3幹線第11支線用水路	1,739	-	-	929	252	2,416
	越歳第1幹線第1支線用水路	1,737	-	-	928	252	2,413
	越歳第1幹線第3支線用水路	3,507	-	-	1,874	509	4,872
	越歳第1幹線第4支線用水路	11,742	-	-	6,274	1,703	16,313
	越歳第1幹線第5支線用水路	484	-	-	259	70	673
	越歳第1幹線第6支線用水路	33,409	-	-	17,852	4,847	46,414
	越歳第1幹線第7支線用水路	20,703	-	-	11,063	3,003	28,763
	越歳第1幹線第7-1支線用水路	623	-	-	333	90	866
	越歳第1幹線第7-2支線用水路	1,838	-	-	982	267	2,553
	越歳第2幹線第1支線用水路	2,196	-	-	1,174	319	3,051
	越歳第2幹線第3支線用水路	3,417	-	-	1,826	496	4,747
	越歳第2幹線第5支線用水路	4,195	-	-	2,242	609	5,828
二見ヶ岡幹線第1支線用水路	5,084	-	-	2,655	741	6,998	

西網走地区地区の事業の効用に関する詳細
2(2) 総費用の総括-3

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	事業着工時点 の資産価額	当該事業費	関連事業費	評価期間に おける 予防保全費 ・再整備費	評価期間終了 時点の資産価額	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
		①	②	③	④	⑤	
その他	二見ヶ岡幹線第2支線用水路	814	-	-	404	120	1,098
	二見ヶ岡幹線第3支線用水路	4,362	-	-	2,331	633	6,060
	二見ヶ岡幹線第4支線用水路	1,711	-	-	887	250	2,348
	二見ヶ岡幹線第5支線用水路	1,150	-	-	615	167	1,598
	二見ヶ岡幹線第5-1支線用水路	1,606	-	-	858	233	2,231
	二見ヶ岡幹線第6支線用水路	30,198	-	-	16,136	4,381	41,953
	二見ヶ岡幹線第7支線用水路	6,330	-	-	3,382	918	8,794
	二見ヶ岡幹線第7-1支線用水路	1,477	-	-	789	214	2,052
	二見ヶ岡幹線第8支線用水路	1,807	-	-	966	262	2,511
	二見ヶ岡幹線第12支線用水路	97,973	-	-	52,352	14,213	136,112
	二見ヶ岡幹線第12-6支線用水路	1,462	-	-	781	212	2,031
	平和第1幹線第1支線用水路	2,305	-	-	1,221	335	3,191
	平和第1幹線第2支線用水路	1,425	-	-	761	207	1,979
	平和第1幹線第3支線用水路	1,454	-	-	777	211	2,020
	平和第1幹線第5支線用水路	3,452	-	-	1,845	501	4,796
	平和第1幹線第6支線用水路	12,056	-	-	6,442	1,749	16,749
	平和第1幹線第6-1支線用水路	1,632	-	-	872	237	2,267
	平和第1幹線第7支線用水路	16,678	-	-	8,912	2,420	23,170
	平和第1幹線第8支線用水路	902	-	-	482	131	1,253
	平和第1幹線第9支線用水路	1,663	-	-	889	241	2,311
	平和第1幹線第10支線用水路	1,795	-	-	959	260	2,494
	平和第1幹線第11支線用水路	6,145	-	-	3,284	891	8,538
	平和第2幹線第1支線用水路	2,419	-	-	1,270	352	3,337
	平和第2幹線第2支線用水路	1,253	-	-	670	182	1,741
	平和第2幹線第4支線用水路	930	-	-	466	137	1,259
	平和第2幹線第5支線用水路	1,195	-	-	638	173	1,660
	平和第2幹線第6支線用水路	414	-	-	221	60	575
	平和第2幹線第7支線用水路	7,346	-	-	3,925	1,066	10,205
	平和第2幹線第8支線用水路	4,062	-	-	2,171	589	5,644
	能取第1幹線第1支線用水路	12,834	-	-	6,713	1,871	17,676
	能取第1幹線第1-1支線用水路	8,674	-	-	4,635	1,258	12,051
	能取第1幹線第2支線用水路	3,029	-	-	1,588	441	4,176
能取第1幹線第3支線用水路	3,049	-	-	1,567	446	4,170	

西網走地区地区の事業の効用に関する詳細
2(2) 総費用の総括-4

(単位：千円)

区分	施設名 (又は工種)	事業着工時点 の資産価額	当該事業費	関連事業費	評価期間に おける 予防保全費 ・再整備費	評価期間終了 時点の資産価額	総費用 ⑥=①+②+③ +④-⑤
		①	②	③	④	⑤	
その他	能取第1幹線第4支線用水路	3,035	-	-	1,588	442	4,181
	能取第1幹線第6支線用水路	5,229	-	-	2,734	762	7,201
	能取第1幹線第7支線用水路	11,659	-	-	5,887	1,713	15,833
	能取第1幹線第7-1支線用水路	14,574	-	-	7,787	2,114	20,247
	能取第1幹線第7-3支線用水路	628	-	-	336	91	873
	能取第1幹線第8支線用水路	12,061	-	-	6,183	1,766	16,478
	能取第1幹線第8-1支線用水路	1,763	-	-	942	256	2,449
	能取第1幹線第8-2支線用水路	9,695	-	-	5,181	1,407	13,469
	能取第1幹線第8-3支線用水路	1,593	-	-	851	231	2,213
	能取第1幹線第9支線用水路	2,759	-	-	1,438	402	3,795
	能取第1幹線第10支線用水路	1,808	-	-	935	264	2,479
	能取第1幹線第11支線用水路	1,973	-	-	1,044	287	2,730
	能取第1幹線第12支線用水路	2,044	-	-	1,092	297	2,839
	能取第1幹線第13支線用水路	2,431	-	-	1,299	353	3,377
	能取第1幹線第14支線用水路	485	-	-	259	70	674
	能取第1幹線第15支線用水路	3,263	-	-	1,744	473	4,534
	能取第1幹線第17支線用水路	2,307	-	-	1,233	335	3,205
	能取第2幹線第1支線用水路	21,840	-	-	11,541	3,176	30,205
	越歳ファームポンド	157,565	-	-	82,511	22,963	217,113
	嘉多山ファームポンド	189,945	-	-	99,813	27,660	262,098
	卯原内第1ファームポンド	232,295	-	-	124,126	33,700	322,721
	卯原内第2ファームポンド	149,930	-	-	80,115	21,751	208,294
	平和ファームポンド	159,996	-	-	84,648	23,264	221,380
能取ファームポンド	256,886	-	-	137,266	37,267	356,885	
散水機	629,721	-	-	1,459,688	42,045	2,047,364	
	計	25,095,964	-	-	5,607,083	2,153,900	28,549,147
	合計	25,431,953	1,068,292	-	5,735,467	2,186,862	30,048,850

西網走地区の事業の効用に関する詳細
 3(1) 作物生産効果

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③= ①×② ÷100	生産物 単価 ④	増加粗 収益 ⑤= ③×④	純 益 率 ⑥	年効果額 ⑦= ⑤×⑥
		現況	計画	効果 発生 面積 ①		事業 なかりせ 単収	事業 ありせば 単収	効果算定 対象 単収 ②					
		ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円
大豆	更新	19	19	19	単収増 (湿潤かんがい)	174	219	45	8.6	89	765	73	558
小豆	更新	27	27	27	単収増 (湿潤かんがい)	175	220	45	12.2	340	4,148	84	3,484
ばれいしょ	更新	901	901	901	単収増 (湿潤かんがい)	2,878	3,741	863	7,775.6	72	559,843	82	459,071
てんさい	更新	926	926	926	単収増 (湿潤かんがい)	4,870	5,893	1,023	9,473.0	10	94,730	70	66,311
だいこん	更新	14	14	14	単収増 (湿潤かんがい)	2,308	2,770	462	64.7	91	5,888	82	4,828
たまねぎ	更新	17	17	17	単収増 (湿潤かんがい)	3,922	5,098	1,176	199.9	75	14,993	79	11,844
いちご	更新	5	5	4	単収増 (湿潤かんがい)	1,517	1,820	303	12.1	1,799	21,768	80	17,414
普通畑計	更新	1,909	1,909								702,135		563,510
新設													
更新		1,909	1,909								702,135		563,510
合計											702,135		563,510

